

教区通信

ふくおか

2017(平成29)年10月1日発行

Vol.122

発行

「御同朋の社会をめざす運動」
福岡教区委員会



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ

-From tying bonds to great encounters-



▲全国仏教壮年東北大会(親鸞聖人ご旧跡 板敷山大覚寺にて)

P2 伝灯奉告法要御満座のご消息披露 総局巡回 2017(平成29)年度 公聴会 併催

- P2 「親鸞聖人報恩講法要」のお知らせ
- P3 第二十二回全国仏教壮年会東北大会
- P4 平成29年7月九州北部豪雨被害
- P5 //

- P6 下川東組 実践運動の取り組み
- P6 鞍手組 実践運動の取り組み
- P7 福岡教区布教団 布教大会
- P7 法話「祖母のよろこび」
- P8 行事予定

伝灯奉告法要御満座のご消息披露 総局巡回 2017 (平成29) 年度 公聴会 併催

怡土組 正善寺 原田 円城

八月二十九日(火) 伝灯奉告法要御満座のご消息披露総局巡回、公聴会が併催して行われました。

本年度の「公聴会」の内容は3本立てでした。

第1の柱は【学び】として、先の伝灯奉告法要初日の専如門主ご親教「念仏者の生き方」について、丘山願海本派総合研究所長から、その受け止めが述べられました。

次に、伝灯奉告法要についての実施概要と、平和に関する論点を整理をテーマとしての意見集約についての2点が、宗派当局から【報告】されました。そして3番目の柱を【協議】とし、議題について当局一括説明の後、それを受けての意見聴取がはられました。実質的な議題は次の3点です。



ご消息披露

①特別会計災害対策金庫の新たな原資の確保について

災害対策については、九州北部豪雨被災が発生し、御同朋として支えあう姿勢があらためて問われています。支援体制やその活動が、宗門内でのように生かされていくべきか、よくよく議論の必要な項目です。

②「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合基本計画・重点プロジェクト改定について

御同朋の社会をめざす運動の改定案に関しては、当教区実践運動委員会がこれまでに提出してきた意見具申が示す通り、運動推進のための基本的な認識や姿勢が、宗門内で共有されているかを確かめるものです。

③十年、二十年後の日本社会で求められる僧侶像・寺院像について

社会に求められる僧侶像・寺院像は、基幹運動として同朋運動推進僧侶研修会や、寺院の本来化を見据えて門信徒会運動に取り組んできた課題と成果の検証をぬきにしては語れないことです。

報告事項とされた平和に関する論点整理を含めて、いづれも重い課題であり、宗門内の声を広く拾い、あらゆる場で議論の俎上に乗せてゆくことは大切です。

公聴会当日も貴重な意見が数名の参加者から述べられました。

一方で、「意見聴取の対象になる項目が事前にどれほど周知されていたか」「口頭による説明に頼らず、補助資料を十分そろえて参加者の理解に資するべき」など、公聴会のより丁寧な運営を求める意見が複数ありました。それは、公聴会の開催が、意見を聞いたという実績づくり、つまり形だけのものではあつてはいけないという厳しい指摘でした。宗門の民主的な運営に情報公開は不可欠であり、宗派当局に対して、それらの姿勢を直接強く求めた意見でした。しかし、実は教区内においても、同じ視点をもつて省みる必要があるのではないのでしょうか。あらかじめ『宗報』に掲載され、事前に教区内全寺院を通して、意見聴取の項目を記した案内状が配布されたにもかかわらず、寺族・門信徒を対象とした情報の公開や伝達が足元でおろそかだったのか、出席者数50名では寂しさを覚えました。

そのことの危機感も受け止めておかねばならないと思います。



本願寺福岡教堂・福岡教区「親鸞聖人報恩講法要」のお知らせ

◆期 日 2018 (平成30) 年1月26日(金)～28日(日) 速夜

◆参 拜 日	26日(金)	福岡組・宗像組・遠賀組・三門北組・八女組・鞍手組・粕屋組
	27日(土)	志摩組・御笠組・嘉麻組・東筑組・三門南組・下川東組・那珂組
	28日(日)	怡土組・早良組・上下組・夜須組・柳川組・西嘉穂組

◆時 間 7:00 晨朝法要 (27日・28日のみ)
10:30 日中法要
12:00 お 齋
13:00 御 法 話
15:00 法話終了
16:30 帰 敬 式 (28日のみ)

◆法話講師 片江 哲海 師 (本願寺派布教使・佐賀教区神埼組西福寺)

どなたでも、ご自由にご参拝いただけます。
(但し、28日帰敬式に関しましては、事前申込が必要です。)
※所属のご寺院へお問い合わせください。

第二十二回全国仏教壮年会東北大会

福岡教区仏教壮年連盟 理事長 末松 義成

平成二十九年九月二日(土) 第二十二回全国仏教壮年東北大会が仙台市市民会館にて、全国より千三百名の御同朋の参加のもと開催されました。

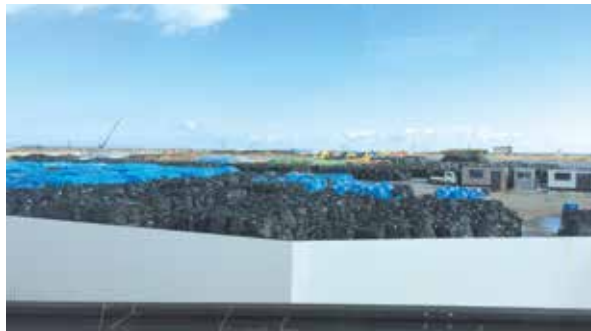
前大会は四年前、福岡教区担当にて国際会議場で開催しました。その時のスタッフの熱意を思いおこします。

さて、福岡教区は他教区に比較しても六十七名の大人数でこの全国大会に参加しました。

八月三十一日(木) 福岡空港に早朝集合し、羽田に昼に着き、親鸞聖人の関東での足跡をたどると言う事で、茨城県結城市称名寺、栃木県真岡市専修寺の2ヶ寺を参拝。当日は、水戸市宿泊。翌九月一日は、水戸市報仏寺続いて、聖人が「教行信証」のご執筆を進められた笠間市稲田草庵跡、西念寺を参拝。九十一歳のご住職が法話の後、我々のバスを遠く九州から来た事に涙して感謝され、姿が見えなくなるまで手を大きく振って見送りしていただきました。



さらに近くの大覚寺で法話と記念写真。いずれも聖人四十二歳ごろから約二十年間、関東各地を行脚し念仏を広められたとの事。午後より、仙台へ向かう途中東京電力福島第一原発の近くを走り、浪江町のあたりは、農地や水路は荒れ放題。住居等はひどくいたんだ様子。除染作業も行われて多量の土が袋に入れられ積み上げられた景色が続いており、まだ先のみえない復興の姿がありました。



仙台に到着し、食事会の時九州北部豪雨で被災された上下組理事林清一さんから現在の状況についてお話していただき、仲間の中にも困難のさなか頑張っており、みなで激励に行く事を約束しました。九月二日の大会当日は、午前中松島を見学し午後より会場に入りました。開会式後、

第22回 全国仏教壮年東北大会



ご門主様からお言葉を賜り「東日本大震災の七回忌にあたる年、東北で開催される事に大きな意味がある」というお言葉をたまわりました。東北教区佐藤理事長から、今大会のテーマは、「ともにいのち輝く朋友の笑顔」である。



全国仏教壮年会宮南理事長からは、まだまだご苦労が絶えないのに「笑顔で朋友をむかえます」と言ってくれた東北教区に謝辞を述べてありました。

記念講演では、ご自身も津波被災された足利一之任職より体験談があり「当たり前前道の事、あたり前の生活があるわけでない」と語ってありました。

私が参加して思う事は、大会への参加が目的ではありませんが、まず福岡教区の方々と道中で交流させていただき楽しく、なごやかであった事に深く感謝します。



仏教壮年会結成50年を迎えられ、全国大会時に表彰をされました。

- 東筑組教念寺仏教壮年会
- 西嘉穂組明光寺仏教壮年会

平成29年7月 九州北部豪雨災害

このたび、2017(平成29)年の7月九州北部豪雨災害に遭われました皆さまに心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

豪雨水害発生から3ヶ月が経とうとしていますが、被災地では未だ行方不明の方がおられ、その捜索発見に努めておられます。また、被災地では今後の復興に向けた活動が進んでおりますが、その一方で復興がこれからという所も多くあり、長期の取り組みが必要と考えられます。

福岡教区災害対策委員会では、皆さまの物心両面のご支援のもと被災地でのボランティア活動等、復興への取り組みを進めてまいります。

今般は本紙において、現在までの概況をお知らせします。

合 掌

福岡教区教務所長

福岡教区災害対策委員会委員長

菊池 慈峰

◆福岡教区内被害概況について

- ・全 壊 281戸
 - ・半 壊 570戸(床上含)
 - ・床 下 561戸
 - ・ご門徒の死亡届 24名
 - ・行方不明者 4名
- ・・・・・・・・【2017(平成29)年9月30日現在】

◆本願寺・各教区からの「平成29年7月九州北部豪雨災害見舞金」について

- ・お見舞金 16,592,254円
 - ・お見舞金件数 276件
- ・・・・・・・・【2017(平成29)年9月30日現在】

【福岡教区義援金受付について】

(1) 口座振り込み

- ◇銀 行 福岡銀行 くろもん 黒門支店 普通預金
- ◇名 義 災害対策費 代表 きく ち じ ほう 菊池 慈峰
- ◇口座番号 1278730

(2) 現金書留か直接教務所へご納入

※大変お手数ですが、お寺でお振込みされる際、寺院番号を頭につけてください。

※尚、受領証が必要な方は福岡教務所までお知らせください。

※当分の間は義援金を受け付けていますので、皆様のご協力をお願いします。

【お問合先】〒810-0055 福岡県福岡市中央区黒門3-2

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所 TEL(092)771-9081

【福岡教区 災害特設ページ】http://www.f-hongwanji.or.jp/event/kyushu_support.html

◆お見舞金分配について

2017 (平成 29) 年 9 月 11 日開催しました、福岡教区災害対策委員会にて第 1 次お見舞金が承認されましたので、同年 9 月 14 日において当該地域へ出向し教務所長より組長へ伝達しました。



◆ボランティアについて

◇活動実施

- ・福岡教区教務所職員 13 回、延べ 34 人
- ・本願寺派宗務所員 2 回、延べ 16 人

また、教区内各寺院からも有志がボランティアに参加しております

..... 【2017 (平成 29) 年 9 月 30 日現在】



7月の現地の様子

◇ボランティア受入先

申込方法や受付時間等につきましては、必ず事前に確認のうえ、ボランティア活動に参加してください。

※ 10 月より受入は金・土・日に変更

● 朝倉市災害ボランティアセンター

(朝倉市杷木久喜宮 1594-2)

電話番号 (総合受付) 080-2300-3558

(団体受付) 090-6569-4983

HPアドレス <http://asakuravc.jp/>

● 東峰村社会福祉協議会ボランティアセンター

(朝倉郡東峰村大字小石原鼓 2846)

電話番号 0946-74-2012

F A X 0946-74-2666

HPアドレス <http://tohovc.jp/>

..... 【2017 (平成 29) 年 10 月 1 日現在】

下川東組 実践運動の取り組み

下川東組(しもせんとうぞ)は、福岡県の南部、豊かな自然に囲まれた地域に位置する、十ヶ寺で構成された小規模な組です。

我が組では、「日常の寺院活動(自らが念仏を喜ぶ身とならせていただき、一人でも多くの方々に念仏の輪を広げていく)」を実践目標に、老若男女相集うお寺を目指し、各種研修会・法座活動を行っております。

「若者のお寺ばなれ」が叫ばれて久しいこの頃です。教区内各組におかれましては、あの手この手で工夫を凝らしておられることと推察いたします。我が組でも事あるごとに、若い世代の方々へのお参りをお勧めしています。ですが、各家庭で僧侶をお待ち受けくださる方、日頃お寺にお参りされる方といえは、圧倒的にご年配の方々です。そこで、日常の寺院活動において、接する機会が多いこのご年配の方々を通して、お念仏の輪を広げてゆければと考えています。

昨今、農村部から都市部への若年層の流出が著しく、限界集落などという言葉も頻繁に耳にします。私どもの住む地域も例外ではありません。お寺や公園に子

どもたちの姿はなく、挨拶を交わすのは専らご年配の方々ばかり。結句絶家となつてしまった家も少なくありません。

およそ日本における宗教は、家単位で代々信仰が守られてきました。浄土真宗でも親から子へ、子から孫へとお念仏が相続されてきました。こんなご時勢だからと責務を放棄して、その流れを止めてはなりません。「前に生まれん者は後を導き、後に生まれん者は前を訪へ(安樂集)」と言われるとおり、私たちはそれを後世に伝える体現者とならねばなりません。

日頃の月参りや法事をキチンと勤められるその後ろ姿から子や孫は学びます。「お参りせずにはおれぬ」とお寺に通われるその足跡を子や孫は辿ります。親から子へ、子から孫へ。確実にバトンタッチができれば、たとえどこに居を移そうが、きつとご法義は続いてゆくはずですよ。



鞍手組 実践運動の取り組み

鞍手組の実践運動では、まず従来からの各教化部門(総代会・仏壮・仏婦など計十一部門)における世代・性別・目的等に沿った活動を引き続き大切にしながら、近年では各教化部門の枠を超えて、より広く深くみ教えを伝える喜び、なおかつ社会との関わりを深める取り組みを進めております。具体的には、総代会・門信徒男子部・仏壮による三部合同研修会や青少年部と地域の子ども食堂との行事共催などをはじめ、多岐に及びます。このような取り組みによって一部門単独では実現困難だったことも共催によって可能となり、今後の実践運動推進における新たな方向性や可能性を見出すことが出来るようになりました。

次に重点プロジェクトの取り組みとしては『災害支援：東日本大震災をはじめとする被災者への支援』を「実践目標」に掲げ、組全体で、また各教化部門の研修会などにおいて推進しております。東日本大震災発生後の復興支援がきっかけでしたが、近年



多発する自然災害に対しても、他人事とせず被災地に寄り添う姿勢を大切にしてまいりました。熊本地震の際には、地震発生後間もない時期に現地での情報収集を行ったことで報道だけではわからない被災地の実状も組内で共有でき、それが後の支援に活かされました。具体的な支援としては、義援金・7回にわたる災害ボランティア派遣・復興念珠販売・仮設団地でのお茶会用お菓子を送る活動・そして被災地ならびに仮設団地お茶会訪問などです。また、本年7月に発生した九州北部豪雨においても迅速な初期対応を心掛け、現地での情報収集・組内での情報共有を通して、現在は義援金・災害ボランティア活動などを行っております。

なお災害支援を進める中で、寺院が担う役割や課題も見えてきました。今こそ寺院が本当に苦悩に配慮する場所・依り処になりうるか、が問われていると思えます。そのためには各部門でのお聴聞や法義研鑽を大切にしつつ、今後も実践目標の推進に取り組んでまいります。



福岡教区布教団 布教大会

鞍手組実践運動主任 円覚寺 松野 淳信

八月三十日(水)福岡教区布教団布教大会が鞍手組を会所担当として直方市の西徳寺にて開催されました。

開催に際しては当初より布教団と会所寺院のみならず鞍手組全体として取り組み、アイキャッチも重視した鞍手組独自のポスターを作成するなどして、一人でも多くの方にご縁に遇っていただきたいの思いより準備を進めてきたことあったのでしょうか、当日は午前十時の開会前から本堂はお聴聞の方ですでに満堂の状態、開会後は門信徒会館でもモニターを通して多くの方がお聴聞され、最終的に200名を超える方がご縁に遇われました。

さて、このたびの布教大会では「自信教人信」をテーマに午前3名、午後4名、計7名の教区内の布教使の方々より30



分間ずつのお取次ぎをいただきました。

7名の布教使の皆様それぞれにお取次ぎされるお姿などに違いはあれども、本願他力のお救いに疑いなくおまかせし、また救われるよろこびをそのままお伝えさせていただくという「自信教人信」の心を、一日通して有り難くお味わいさせていただけたいことが何よりでした。また、いつの間にか「話す」という手法に傾倒しがちであった自らの姿を振り返る機会ともなり、聞法即伝道の大切さを改めて感ずるところでもあります。

ご来場された方々からも「一日通して7名もの布教使の方からご法話を聴聞したのは初めて」「お一人30分という限られた時間の中で凝縮されたお話を聞けてよかった」「来年の布教大会もぜひ参加したい」等々、多くのお言葉もいただいております。

なお、今回の布教大会を参考にし、鞍手組独自の法話会などもこの先、開催出来ればとの案も出てきており、み教えがより広がっていくことを願わずにおれませぬ。

最後に、本当に尊いご縁を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

一言法話

今年祖母の三十三回忌でした。私は祖母から一度だけ褒めてもらった思い出があります。お寺のご法座で初めて正信偈をお勤めした時、祖母はとても喜んで、私を膝に抱きかかえ、何度も何度も足をさすって褒めてくれました。しかし、小学校に上がる

前のことですから、引つ掛かったり、間違えたりしながら、お勤めしていたことと思えます。それなのに祖母は笑顔で、本当に嬉しそうでした。

「祖母のよろこび」 寺徳教 早良組 鳥飛 築場

は慶んでくれたのだと思います。阿弥陀さまは「いろもなく、かたちもない」仏さまです。目に見えたり触れたりできるものは信じることが容易いですが、見えないもの、触れることができないものは疑うことから始まるのがこの私です。

しかし、私は阿弥陀さまのことを知らずとも、阿弥陀さまは私のことをご存知でおられました。むなしい人生では終わらせないぞ、とほるか昔から阿弥陀さまが私を喚び続けてくださったのです。ここに「一緒の「南無阿弥陀仏」のお念仏は、その阿弥陀さまのご苦勞の結晶でもあるのです。祖母はそのことを慶んでくれたのでしよう。

「風はみえないけれど風のすがたはなびく草の上に見える」とある先生が仰っておられました。周りの方からお念仏が聞こえると、ああここにも阿弥陀さまがはたらいておられるんだな、と味わわせていただきます。私の姿から、阿弥陀さまがここにも間違いなくはたらいておられると祖母

幼い私に向けられた祖母の笑顔は今も私に「あなたもわたしも同じお慈悲をいただいて、同じお浄土に参らせてもらおうね」と呼びかけてくれているようです。祖母が慶んだお念仏を、私も今味わわせていただいております。

福岡教区教務所の予定表

月	日	曜	時	内 容
10月	2	月	13:00	子ども・若者ご縁づくり推進委員会 / 15:00 実践運動教区委員会 広報部会
	3	火	14:00	実践運動教区委員会 寺院機能推進部会
	5	木	10:00	恵信尼法要 実行委員会 / 10:00 少年連盟 指導者研修会
			19:00	スカウトクラブ 役員会 (那珂組浄運寺)
	6	金	13:30	連研のための研究会 / 18:30 仏教青年連盟 定例会
	10	火	14:00	布教団 役員会 / 14:00 実践運動 非戦・平和部、時局問題対策協議会合同会議
	11	水	14:00	ビハーラ福岡 例会 / 九州若婦人部大会 幹事会 (熊本～12日迄)
	12	木	12:00	ビハーラ遺族 語らいの会 / 九州組長理事会 (大分～13日迄)
			14:00	ビハーラ・ライン 例会
	13	金	14:00	少年連盟 役員会 / 第5連区門徒代表者協議会研修 (熊本～14日迄)
	14	土	11:00	清掃奉仕 (御笠組・夜須組) / 13:30 親鸞聖人鑽仰講座 (～15日迄) 九州地区真宗青年のつどい大分大会 (大分～15日迄)
	17	火		恵信尼750回忌法要 (～18日迄)
	19	水	13:30	第5連区布教使研修会 (福岡～20日迄)
	23	月	14:00	長期振興計画委員会 / 14:00 子ども・若者ご縁づくり推進委員会
		14:00	第2回 社会福祉推進協議会 評議員会	
25	水	14:00	実践運動教区委員会 常任委員会	
26	木	14:00	実践運動教区委員会 同朋運動部会 / 九州ブロック講社講員研修会 (宗像～27日迄)	
27	金	14:00	ビハーラ福岡 役員会	
11月	1	水	14:00	ビハーラ福岡 例会
	2	木	14:00	実践運動教区委員会 門信徒教化部会
	6	月	15:00	実践運動教区委員会 広報部会
	7	火		仏教婦人会若婦人部 九州大会 (熊本)
	8	水		福岡教堂 念仏奉仕団 (京都～10日迄)
	9	木	14:00	ビハーラ・ライン 例会
	10	金	14:00	実践運動教区委員会 寺院機能推進部会
	11	土		第26回仏教婦人会若婦人部 中央研修会 (本山～12日迄)
	14	火	13:30	清掃奉仕 (怡土組・粕屋組) / 13:30 親鸞聖人鑽仰講座 (～15日迄)
	17	金	13:30	第3回 災害対策委員会 / 15:00 組長会
	18	土		第5連区 寺院仏壮結成に向けた研修会 (鹿児島～19日迄)
	20	日		第5連区 ビハーラ協議会 (長崎～21日迄)
	21	火	14:00	福岡教誨師会
	22	水	14:00	実践運動教区委員会 常任委員会
24	金	13:00	門徒推進員連絡協議会 役員会	
12月	5	火	12:00	第2回街頭募金 (天神パルコ前)
	6	水	14:00	ビハーラ福岡 例会
	7	木	14:00	ビハーラ・ライン 例会 / 連研研修協議会 (本山～8日迄)
	11	月	14:00	実践運動教区委員会 常任委員会
	12	火	13:30	勤式研修会
	14	木	11:00	清掃奉仕 (遠賀組・柳川組) / 13:30 親鸞聖人鑽仰講座 (～15日迄)
	18	月	11:00	門徒代表者協議会 / 14:00 実践運動教区委員会 研修会
	19	火	16:00	組長会 / 第5連区門徒推進員連絡協議会 代表者会 (～20日迄)
	20	水		得度修礼講習会 (～21日迄)
	27	水		冬期休業 (～2018年1月5日迄)

● 図書コーナーを開設しました! →
ご自由にご活用ください

- ・ 2階事務所に落とし物コーナーを設置しております。落とし物にお心当たりのある方は、ご確認をお願いいたします。



編集
後記

先日PTAの研修会で、最近よく耳にするユニバーサルデザインという言葉を知りました。国籍の違い、老若男女といった差異、障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品の設計(デザイン)という意味です。まさに阿弥陀様の救いもユニバーサルデザインだなと頷く1日となりました。(S.M)

発行責任者

浄土真宗本願寺派 福岡教区教務所長 菊池 慈峰

〒810-0055 福岡市中央区黒門3-2
電話:092(771)9081